

1. 科目名 (単位数)	人権教育 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1333						
2. 授業担当教員	攪上 哲夫								
4. 授業形態	講義、グループ学習、討議、発表等	5. 開講学期	春期 (池袋) 秋期 (池袋・王子)						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	<p>○人権教育とは「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」(「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律第2条」)であり、国民は「人権尊重の精神の涵養に努めるとともに、人権が尊重される社会の実現に寄与するよう努めなければならない。」(同法律第6条「国民の責務」)とされている。</p> <p>○上記の趣旨を受けて、本科目においては、日本及び海外の人権課題(問題)の現状や解決・改善の取り組みについて理解を深める学習を行う。</p> <p>○学校や社会における継続した人権教育(いじめ、虐待、女性・外国人の人権等具体的な人権課題)の必要性やその在り方を実践的に学習し、人権感覚を磨き、身に付けられるようにする。</p> <p>○人権教育に関わる基本的な法例等についても学習する。</p>								
8. 学習目標	<p>○人権の歴史や日本国憲法における国民の権利について再確認し、重要点についての理解を深めることができる。</p> <p>○人権教育の根拠法である「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」や「人権教育・啓発に関する基本計画」について、目的、基本理念、内容について理解を深めることができる。</p> <p>○『人権教育・啓発白書』に示されている我が国の人権課題を把握し、人権尊重に関する現状と諸課題についての理解を深め、人権課題の解決に努めていこうとする姿勢を身に付ける</p> <p>○学校や社会において、人権感覚を磨き身に付ける継続した取り組みの必要性について、積極的に授業に参加し、理解を深めることができる。</p> <p>○人権擁護を目的とする種々の国際法(条約)や国内法の概要を理解できる。</p>								
9. アサインメント (宿題)及びレポート課題	<p>1. 人権問題について関心のあるテーマを選び、パワーポイントでスライドを作成し、発表する。</p> <p>2. 法務省「啓発活動強調事項17項目」より一項目を選び、人権問題を調査し、人権教育の視点から考察しなさい。</p> <p>3. 人権教育のテーマごと、課題を提示し振り返りを行う。</p>								
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>プリントによる教材を配布する。</p> <p>【参考図書】中野光、小笠毅編著(2019)『ハンドブック 子どもの権利条約』岩波書店。 中野睦夫編著(2019)『早わかり人権小事典』明治図書。 北野秋男・上野昌之編(2020)『ニッポン、クライシス マイノリティを排除しない社会へ』学事出版</p>								
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 人権教育の意義及び基礎を理解しているか。</p> <p>2. 人権問題の現状や解決・改善の取り組みについて自らの問題として理解を深めているか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>グループでの活動、授業への積極的参加度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 グループでの活動</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 レポート等(小課題、試験を含む)</td> <td>総合点の50%</td> </tr> </table> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>			1 グループでの活動	総合点の30%	2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)	総合点の20%	3 レポート等(小課題、試験を含む)	総合点の50%
1 グループでの活動	総合点の30%								
2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)	総合点の20%								
3 レポート等(小課題、試験を含む)	総合点の50%								
12. 受講生への メッセージ	<p>「人権」に対する掘り下げた理解を図り、各自が「人権」問題を自分の問題として意識できるように主体的に授業に参加すること。「子どもの人権」に視点を充てた授業を主として展開する。受講生は、主体的に人権問題を調査し、発表する。なお、新型コロナウイルスの流行により zoom での授業に対応した場合は、授業の5分前までに端末の前に座って準備すること。</p>								
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	科目ガイダンス 人権とは何か① 個々の人権問題を考え、人権教育について自身の体験を想起し整理する。	事前学習	人権とは何か。人権についての自身の体験について整理する。						
		事後学習	関心のある人権問題について発表する準備を行う。						
第2回	人権とは何か② 人権問題についての事例研究発表会を行う。	事前学習	社会で問題となった人権に関する問題の新聞記事等を集め、発表の準備を行う。						
		事後学習	人権の誕生について、資料を読み理解する。						
第3回	人権とは何か③ 人権は、いつ、どこで、どのようにして生まれたのか、資料より読み取る。	事前学習	人権・権利・自由・平等について資料よりまとめる。						
		事後学習	人権が創出されてきた歴史について振り返る。						
第4回	人権とは何か④ 「憲法」及び「世界人権宣言」にみられる基本的人権について整理する。	事前学習	日本国憲法が保障している人権の体系を整理する。						
		事後学習	日本国憲法が保障している基本的人権以外の法律について調べ、まとめる。						

第5回	子どもの人権問題① 「世界子どもの日」制定に至るまでの経過を理解する。	事前学習	「児童権利宣言」と「子どもの権利条約」について調べる。
		事後学習	子どもの人権が侵害されている事例についてまとめる。
第6回	子どもの人権問題② 子どもの人権について「子どもの権利条約」について理解を深める。	事前学習	子どもの権利条約について調べる。
		事後学習	子どもの権利条約と日本の体罰・いじめ問題について考察する。
第7回	子どもの人権問題③ 学生による子どもの人権問題発表会①	事前学習	学生発表会に向けての準備を行う。①
		事後学習	学生から提起された問題点を整理し、まとめる。①
第8回	子どもの人権問題④ 学生による子どもの人権問題発表会②	事前学習	学生発表会に向けての準備を行う。②
		事後学習	学生から提起された問題点を整理し、まとめる。②
第9回	我が国の人権教育の課題① 同和問題の歴史と現状について考察する。	事前学習	部落差別の歴史を調べ、同和教育の現状を振り返る。
		事後学習	これからの同和教育の在り方についてまとめる。
第10回	我が国の人権教育の課題② 子どもの貧困問題の現状と課題について考察する。	事前学習	子どもの貧困問題の事例を新聞等の報道より整理する。
		事後学習	子どもの貧困問題を整理し、人権教育の視点から考察する。
第11回	我が国の人権教育の課題③ 外国人の人権問題の歴史と現状、これからの課題について考察する。	事前学習	外国人の人権問題を調査し、日本及び海外での外国人の人権問題の問題点を整理する。
		事後学習	学校教育における外国人子弟の教育について考察する。
第12回	我が国の人権教育の課題④ 障害を理由とする偏見や差別の現状とこれからの課題について考察する。	事前学習	障害者を中心とする具体的な偏見・差別問題の実際を調べておく。
		事後学習	障害者への偏見・差別を解消するための具体的な取組を考察する。
第13回	我が国の人権教育の課題⑤人権教育の根拠法についてまとめ、これからの社会における人権教育の課題について考察する。	事前学習	「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の条項を調べる。
		事後学習	「人権教育の根拠法」等より、我が国の人権教育、これからの課題を考察する。
第14回	人権教育の課題① 人権教育提言発表会を行う。①	事前学習	各自がこれまで問題としてきた人権問題の課題についてまとめ、人権教育の視点から発表するための資料を作成する。
		事後学習	「人権教育」の課題について、考察する。
第15回	人権教育の課題② 人権教育提言発表会を行う。②	事前学習	各自がこれまで問題としてきた人権問題の課題についてまとめ、人権教育の視点から発表するための資料を作成する。
		事後学習	人権尊重の普及を目指すために、21世紀が人権の世紀といわれるようになるにはどうしたらいいか、自らの課題として今後考えていく。